

## 【議案第 1 号】

# 平成 27 年度 N P O 法人北海道遺産協議会事業報告

## (1) 普及啓発活動事業

### ◆「北海道遺産情報発信アプリの更新」(4月～12月)

スマートフォン向けアプリ (Android・ios 対応)、『北海道遺産 navi』にスタンプ帳の機能を追加し、選定地のデザインフラッグを制作した。8 月には先行して札幌エリアの 5 件の遺産フラッグをリリースし、スタンプ帳機能を使ったフラッグラリーを実施した (フラッグ取得ユーザー総数 : 86 件)。12 月には 52 件全てのフラッグをリリースした。アプリダウンロード実績 : 約 960 件 (H28.4 月現在)



<北海道遺産 navi>

### ◆「会員特典の制作」(6月)

新しい会員特典として、ピンバッジとポストカードを制作・配布した。ポストカードは、株式会社ボドニにご協力いただき、同社発行の「Scene 北海道」に投稿された北海道遺産関連写真を使用した。

### ◆「PR用グッズの制作」(1月)

北海道遺産 PR グッズとして、アプリでも使用しているフラッグデザインを配した「北海道遺産クリアフォルダー」を制作・配布した。

### ◆「道庁赤れんが庁舎 2 階北海道遺産展示スペースの見直し」(3月)

通年展示を行っている道庁赤れんが庁舎 2 階展示コーナーのリニューアルを行った。木製の展示棚を制作、パネル・パンフレットを見やすく設置した。パネルでは地域へのアクセス時間・適した見学時期等を表示し、より具体的に地域に足を運んでもらえる展示を行った。(平成 26 年度・サッポロビール黒ラベル北海道遺産缶の寄付金により実施)



▲リニューアル前



▲リニューアル後



◆「Web 等での情報発信と管理運営」(通年)

北海道遺産関連のイベント・トピック等の情報を公式ウェブサイト、ブログ、twitter (フォロワー3,899名)、メールニュース(登録数約400名)、Facebook ページ(購読者2,736名←H27:1,658名)で配信した。日々の情報発信手段についてはFacebook がメインになっている。

<北海道遺産 facebook ページ リーチ(記事閲覧)数 上位記事>



▲2016年3月31日投稿  
増毛町ふるさと納税紹介  
(リーチ数 9,963人)



▲2016年4月20日投稿  
北海道 Likers 「EBRI (エブリ) (旧ヒダ工場)」紹介  
(リーチ数 3,739人)

●2016年3月6日投稿  
STV「1×8いこうよ！」  
北海道遺産「江別のれんが」放送の告知  
(リーチ数 3,726人)



▲2016年4月22日投稿  
松前町桜開花宣言紹介  
(リーチ数 3,230人)

◆「イベントへの参加・展示PR」(随時)

◇「北海道遺産展」(常設：札幌市・中央バス大通ターミナル2階)

北海道中央バス株式会社・株式会社シーブツアーズのご協力をいただきターミナル2階の1室において展示ブースを設営。北海道遺産52件のパネル展示。

◇「北海道博物館館長コーナーでの北海道遺産パネル展」(4月～5月)

4月にオープンした北海道博物館のご協力により、北海道博物館館長展示コーナーにてパネル展を行った。

◇「ジンギスカンフェスティバルパネル展示」(6/5～6/7：札幌市・札幌駅南口広場)

札幌駅南口広場で実施されたジンギスカンフェスティバル会場内で、ジンギスカンが北海道遺産であることをPRする機会としてパネル展示を行った。



◇「北海道遺産パネル展」開催(11/30～12/2：札幌市・北海道庁1階道民ホール)

道庁ロビーにて北海道遺産のパネル展示を実施。今回は「道南の北海道遺産」を主テーマに、WAON 助成団体の函館湾岸価値創造プロジェクトチームにご協力いただいたパネル展示と、道南の北海道遺産を展示。また、ほっかいどう WAON の H26 年度助成金活動と伊藤園「お茶で北海道を美しく」キャンペーンの H26 年度助成金活動の紹介を行った。



<北海道遺産パネル展(道庁1階)>

◆「その他のPR活動」(随時)

◇雑誌・定期刊行物などへの掲載

- ・『JP01』(総合商研)
- ・『Scene 北海道』(ボドニ)
- ・『散歩の達人MOOK』(交通新聞社)

- ・『電気設備学会誌』（電気設備学会）
- ・『さっぽろ東本願寺』（真宗大谷派札幌別院広報誌）
- ・『労働政策局だより』（北海道経済連合会）
- ・『市電のふるさと』（市電の会）
- ・『2015年版 HOKKAIDO MAP 179 北海道市町村区域図』（NPO 法人日本自治アカデミー）



『JP01』本紙特集地域の北海道遺産を紹介



『Scene 北海道』遺産の公募写真掲載



『散歩の達人 MOOK』道南の北海道遺産遺産を中心に掲載



『電気設備学会誌』石森会長の講演録を掲載



毎号表紙に遺産の写真掲載

### ◇リーフレット・情報誌などの設置・配布

JR 東日本びゅうプラザ（JR 北海道のご協力）、羽田空港（AIRDO のご協力）、北海道さっぽろ食と観光の情報館（札幌駅構内）、札幌市市民活動サポートセンター（札幌エルプラザ）、中央バス大通ターミナル2階の北海道遺産パネル展会場、などでリーフレットや情報誌を設置・配布いただいた。

※2016年リオオリンピック会場内『Tokyo2020 JAPAN HOUSE』にて英文パンフレット配布予定

### ◇企業・団体などによる北海道遺産の活用・紹介及び北海道遺産ロゴマークの活用

- ・札幌テレビ放送：番組『1×8 いこうよ！』での北海道遺産特集（札幌近郊編、函館編、全6回）の放送
- ・川崎近海汽船（シルバーフェリー）：パンフへのロゴ掲載
- ・Gya0：映像コンテンツ配信サイトにて北海道遺産の映像配信
- ・シービーツアーズ（中央バスグループ）：北海道遺産バスでめぐる旅

◆「ニュースレターの発行」(年3回)

手づくりのニュースレター「北海道遺産だより」を発行(年3回)。協議会の活動情報、地域の行事情報など。正会員・賛助会員・関係者等に送付した。



<北海道遺産だより vol.17>

◆「北海道遺産DVD」と「公式ガイドブック」の販売(通年)

平成27年度販売実績

- ・北海道遺産DVD 36セット・59千円 (H26年度:95セット)
- ・北海道遺産公式ガイドブック 383冊・257千円 (H26年度:218冊)

## (2) 地域活動促進支援事業

### ◆「北海道遺産地域活動支援」(6月～)

「ほっかいどう遺産 WAON」(イオン北海道、マックスバリュ北海道、ダイエー発行)のご寄付により、北海道遺産所在地域における遺産保全・活用事業を募集し、17件/600万円の活動に対する助成を実施した(H26年度14件/500万円)。

※助成先の活動については「資料1：平成27年度「ほっかいどう遺産 WAON」助成活動報告」参照

### ◆「北海道遺産地域活動支援」(6月～)

株式会社伊藤園「お〜いお茶 お茶で北海道を美しく」キャンペーンによるご寄付により、北海道遺産所在地域における自然環境保全・景観保全活動事業を募集し、4件/120万円の活動に対する寄付を実施した(H26年度5件/130万円)。

※寄付先の活動については「資料2：平成27年度「お〜いお茶 お茶で北海道を美しく」キャンペーン助成活動報告」参照

### ◆「北海道遺産交流会議『北海道遺産サミット』の開催」(1月)

北海道遺産選定地域、正会員、賛助会員他関係者はもとより、北海道遺産選定地域の首長級の方々に積極的にご参加いただき今後の北海道遺産の方向性を共有する場として、「平成27年度北海道遺産交流会議『北海道遺産サミット』」を実施した。前半は高橋北海道知事にご出席いただき、「ほっかいどう遺産 WAON」寄付金感謝状贈呈式を実施。今年度助成先2団体からのご報告とイオン北海道星野社長からのご挨拶をいただいた。後半は、ゲストを迎えた話題提供とパネラーによる座談会を行った。

・日時：平成28年1月31日(日)

・場所：ホテルポールスター札幌

・参加者：103名

[プログラム]

<WAON 助成活動報告>

WAON：2件

- ・株式会社ファウンド 徳間 氏(小樽みなとと防波堤)
- ・赤平コミュニティガイドクラブ TANtan 大橋 氏(空知の炭鉱関連施設と生活文化)
- ・ご挨拶：星野 三郎 様(イオン北海道株式会社代表取締役社長)

<話題提供>

『地域資源の編集とストーリー～「物語消費」としての観光～』

丁野 朗氏(公益社団法人日本観光振興協会常務理事・総合調査研究所長)

『「明治日本の産業革命遺産」世界遺産登録までの道のりと今後』

島津 忠裕氏(株式会社島津興業代表取締役社長)

<座談会>

テーマ：「北海道遺産の今後の方向性についての報告および意見交換」

進行：石森 秀三 北海道遺産協議会会長

北海道遺産将来構想検討委員会 PT 報告：池ノ上 真一氏(北海道教育大学函館校)

パネリスト：丁野 朗氏、島津 忠裕氏、照井誉之介氏(江差町長)



左から出戸社長（マックスバリュ）、星野社長（イオン）、高橋知事、石森会長



丁野朗氏



島津忠裕氏



照井江差町長



池ノ上氏

◆「北海道遺産将来構想検討委員会と現地視察の実施」（4月～）

理事を中心とした将来構想検討委員会、およびプロジェクトチームによる検討会議を開催し、北海道遺産の今後の方向性についてビジョンとして取りまとめた。また、必要に応じて現地視察を実施し、地域の担い手へのヒアリングや地域活動を見学を行った。

※「資料3：北海道遺産の持続可能な保全・活用に向けた長期ビジョン（案）」参照

◆「講師派遣」（10月）

北海道体験活動指導者セミナー（主催：独立行政法人国立青少年教育振興機構大雪青少年交流の家）への講師派遣依頼を受け、事務局・萩が講師として出席。主に食に関する北海道遺産の紹介やグループワークへの協力を行った。

### (3) 保全活用推進事業

#### ◆「ほっかいどうムラの宝物さがしプロジェクト」(休止中)

※今年度は募集・登録とも実施していない。今後については、北海道遺産全体の将来構想の検討と合わせて検討。

※現在の登録数

・257件(平成27年5月現在)

### (4) その他の事業

#### ◆理事会の開催

◇日時 平成27年6月1日(月) 15:30~17:30

◇会場 北海道遺産協議会事務局

◇内容 平成26年度事業報告、収支決算及び監査報告、平成27年度事業計画(案)及び収支予算(案)

#### ◆総会の開催

◇日時 平成27年6月17日(水) 15:30~17:30

◇会場 北海道庁 9階 東側会議室

◇内容 平成26年度事業報告、収支決算及び監査報告、平成27年度事業計画(案)及び収支予算(案)

#### ◆会員の募集

北海道遺産会員に対し引き続き継続をお願いした。

◇平成27年度会員

- ・個人正会員 7人7口
- ・団体正会員 49法人62口
- ・個人賛助会員 36人44口
- ・団体賛助会費 7法人24口